

鷺池葵

根っこを時の水溜まりに

外に求めずに
じっとしていて。
見えない根っこが
繋がっている。
視線を遠く前でなくて
水平に 横に
語らぬものたちに。
大きなクスノキの
梢の窪みに
すっぽり背を沿わせて、
堅い樹皮のもっと奥を
しづかに感じている。
いまこの
時の水溜まりへ
深く根を浸して。
ただ かんじている
溢れくるなつかしさを、
縮こまる内側を
ひたひたと満たす
この歓びを。